

＜記載例＞

（記載例の解説及び注意事項等は、5 ページ以下を御覧ください。）

- * この記載例は、遺贈により配偶者居住権を取得した場合において、配偶者居住権の設定の登記の申請を、権利者及び義務者から委任を受けた代理人が書面で申請するときのものです。
- * この記載例では、遺言者（死亡した方）を「法務太郎」とし、遺贈により配偶者居住権を取得した配偶者（権利者）を「法務花子」とし、配偶者居住権の負担を負う建物の所有者（義務者）を「法務一郎」としています。
また、権利者「法務花子」及び義務者「法務一郎」が登記の申請に関し必要な一切の権限を「登記五郎（代理人）」に委任した場面を前提としています。
- * 建物の所有者が遺言者（死亡した方）の登記名義のままとなっている場合は、配偶者居住権の設定の登記を申請する前に、相続等による所有権の移転の登記（この記載例を前提とすると、「法務一郎」に対する所有権の移転の登記）を申請する必要があります。

※ 受付シールを貼るスペースになりますので、この部分には何も記載しないでください。

登 記 申 請 書

登記の目的 配偶者居住権設定

原 因 令和 2 年 5 月 1 5 日遺贈（注 1）

存 続 期 間 配偶者居住権者の死亡時まで（注 2）

特 約 第三者に居住建物の使用又は収益をさせることができる（注 3）

権 利 者 ○○市○○町○丁目○○番地
法 務 花 子（注 4）

義 務 者 ○○市○○町○丁目○○番地
法 務 一 郎（注 5）

添付情報
登記識別情報（注 6） 登記原因証明情報（注 7） 印鑑証明書（注 8）
代理権限証明情報（注 9）
登記識別情報を提供することができない理由（注 10）
☐ 不通知 ☐ 失効 ☐ 失念 ☐ 管理支障 ☐ 取引円滑障害 ☐ その他（ ）
☐ 登記識別情報の通知を希望しません。（注 11）

令和 2 年 6 月 1 0 日申請 ○○ 法 務 局（又は地方法務局）○○支局（又は出張所）

代理人 ○○市○○町○丁目○○番地
登 記 五 郎 印（注 12）
連絡先の電話番号 00-00000-00000（注 13）

課 税 価 格 金 3, 0 0 0, 0 0 0 円（注 14）

登録免許税 金 6, 0 0 0 円（注 15）

不動産の表示（注 16）
不動産番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3（注 17）
所 在 ○○市○○町○丁目○○番地

家屋番号
種類
構造
床面積

○番
居宅
木造かわらぶき2階建
1階 43・00平方メートル
2階 21・34平方メートル

契印 (注 18)